

慢性骨髄性白血病 (CML)

CML-1 [イマチニブ療法](#)

CML-2 [ダサチニブ療法](#)

CML-3 [ニロチニブ療法](#)

CML-4 [ボスチニブ療法](#)

CML-5 [ポナチニブ療法](#)





登録日：                      年              月              日      参考文献： \_\_\_\_\_

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
ダサチニブ	慢性骨髄性白血病	有効時継続	毎日	軽度	年    月    日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	...	
ダサチニブ	慢性期：100mg/body 移行期又は急性期： 140mg/body	内服	慢性期： 1日1回 移行期又は急性 期：	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	...

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

**【ニロチニブ】**

- ・慢性期：1日1回100mgを内服する。1日1回140mgまで増量できる。  
移行期又は急性期：1回70mgを1日2回内服する。1回90mgを1日2回まで増量できる。
- ・下痢が比較的起こりやすいため、排便状況を確認すること。
- ・体液貯留(特に胸水)があらわれることがあるので、定期的に体重を測定するなど観察を十分に行うこと。急激な体重増加や呼吸困難があれば受診すること。
- ・肝機能障害やリパーゼ増加が起こる可能性があるため、定期的に肝機能、膵酵素の検査を行うこと。
- ・骨髄抑制が起こることがあるため、各症状に注意すること。状態に応じてG-CSF製剤の使用も考慮すること。
- ・CYP3A4で代謝され、CYP3A4の阻害作用もあるため、CYP3A4に影響する薬剤に注意すること。
- ・PPIやH2受容体遮断薬との併用により、吸収が低下することが報告されているため、制酸剤への切り替えを考慮すること。
- ・B型肝炎ウイルスの再活性化が起こる可能性があるため、定期的に検査を行うこと。

登録日：                    年            月            日    参考文献： \_\_\_\_\_

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
ボスチニブ	慢性骨髄性白血病	有効時継続	毎日	軽度	年    月    日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	...		
ボスチニブ	500mg/body	内服	1日1回 食後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	...

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病に使用。

**【ボスチニブ】**

- ・1日1回500mgを食後に内服する。1日1回600mgまで増量できる。
- ・下痢が比較的起こりやすいため、排便状況を確認すること。
- ・肝機能障害が起こることがあるため検査を行い観察すること。
- ・肝機能障害がある場合、血中濃度が上昇する可能性があるため、減量を考慮すること。
- ・中等度以上の腎機能障害がある場合、血中濃度が上昇する可能性があるため、減量を考慮すること。
- ・体液貯留(特に胸水)があらわれることがあるので、定期的に体重を測定するなど観察を十分に行うこと。急激な体重増加や呼吸困難があれば受診すること。
- ・骨髄抑制が起こることがあるため、各症状に注意すること。
- ・CYP3A4で代謝されるため、CYP3A4に影響する薬剤に注意すること。
- ・PPIとの併用により、吸収が低下することが報告されているため、他の薬剤に変更を検討すること。
- ・B型肝炎ウイルスの再活性化が起こる可能性があるため、定期的に検査を行うこと。

登録日：           年           月           日   参考文献： \_\_\_\_\_

レジメン名	癌腫	投与予定コース数	1コースの間隔	催吐性リスク	治療開始日
ポナチニブ	慢性骨髄性白血病	有効時継続	毎日	軽度	年   月   日

**\* 治療スケジュール**

薬品名	標準投与量	投与方法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	...		
ポナチニブ	45mg/body	内服	1日1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	...

**\* 注意事項等(患者さんにより、点滴内容等が変わることがあります)**

前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病に使用。

**【ポナチニブ】**

- ・1日1回45mgを内服する。
- ・心筋梗塞、脳梗塞等の重篤な血管閉塞性事象があらわれることがあるため、患者の症状に留意すること。
- ・肝機能障害がある場合、肝機能が悪化することがあるため、検査を行い確認すること。
- ・膵炎があらわれることがあるため、定期的に膵酵素を検査し確認を行うこと。
- ・体液貯留があらわれることがあるので、定期的に体重を測定するなど観察を十分に行うこと。急激な体重増加や呼吸困難があれば受診すること。
- ・骨髄抑制が起こることがあるため、各症状に注意すること。
- ・CYP3A4で代謝されるため、CYP3A4に影響する薬剤に注意すること。
- ・B型肝炎ウイルスの再活性化が起こる可能性があるため、定期的に検査を行うこと。